



伊方町
総合計画

よるこびの風薫るまち 伊方

～協働・共生・個性を大切に、一人ひとりがキラリと光るまちづくり～



ご 挨 拶

私たちが暮らす伊方町は、四国の最西端、佐田岬半島に位置し、南の宇和海側はなだらかな白砂の連なる海岸、北の瀬戸内海側はリアス式海岸を形成しています。温暖な海洋性気候が育んだ美しい自然の中に人々の暮らしが息づいています。温かい人情にあふれたこの故郷を受け継ぎ・育み明日へ伝えるために私たちは、一人ひとりが、活力とうるおいに満ちたまちづくりにつとめています。

今日、社会経済情勢はめまぐるしく変化し、地方自治体を取り巻く環境は一段と深刻化し、その課題対策に早急に取り組む必要がございます。平成17年4月1日に伊方町、瀬戸町及び三崎町の3町が合併し、町総合計画基本構想で掲げた将来像「よるこびの風薫るまち伊方」の実現をめざし、まちづくりに努めてまいりました。

後期基本計画策定にあたり、町政を進めるうえで「第1次産業の活性化と少子高齢対策の充実」を最重要課題と定め様々な施策に取り組んでまいります。

この総合計画は、町民一人ひとりのまちづくりに対する熱い想いに応え、まちづくりの3つの要素である協働・共生・個性をキーワードに、これからのまちづくりの指標として策定いたしました。

地方分権時代といわれる今日、本町をはじめ地方自治体の行財政運営は岐路に立っています。国や県から町に対する権限移譲と財源移譲が進められており、町では基礎的自治体としての責務を果たしうるための行政機能と財政力を備えた強固な基盤づくりが急務となっています。

このような社会情勢に対応したうえで、この計画を実効あるものとして推進していくためには、行財政改革の実行が不可欠であります。

町民の皆様一人ひとりのご理解とご協力をいただきまして、着実に計画を実現していくことにより、この町に生まれ育ち、住んで良かったと思えるふるさとの未来の創造に努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、この計画を策定するにあたりましてご協力をいただきました皆様方に心から感謝し、ここに厚くお礼申し上げます。

平成22年12月

伊方町長 山下和彦

CONTENTS よろこびの風薫るまち 伊方

第1編 総論

第1章 ■ 計画策定の趣旨	8
第2章 ■ 計画の構成と期間	9
第3章 ■ 伊方町の特性	10
[1] 地勢的特性	10
[2] 歴史的特性	11
[3] 人口特性	12
[4] 地域特性	13
[5] 広域計画における位置づけ	15
[6] 時代潮流とこれからのまちづくり	17

第2編 基本構想

第1章 ■ 将来像	20
第2章 ■ まちづくりのフレーム	21
[1] 人口指標	21
[2] 地域整備方針	22
第3章 ■ 基本目標	25
[1] 保健・医療・福祉～健やかで、あたたかい心がふれあうまちを目指して	25
[2] 教育・文化～ふるさとを愛し、豊かな心を育てるまちを目指して	26
[3] 社会基盤～安心・安全で、快適に暮らせるまちを目指して	27
[4] 環境保全～美しい自然を、みんなで守るまちを目指して	28
[5] 産業振興～自然と親しみ、共に育む産業のまちを目指して	29
[6] 住民協働・行財政～みんなの参加と、信頼の輪による協働のまちを目指して	30
第4章 ■ 施策体系	31

第3編 後期基本計画

[1] 保健・医療・福祉	35
施策 1-1 健康増進活動の推進	37
施策 1-2 医療体制の充実	41
施策 1-3 子育て支援の充実	43
施策 1-4 高齢者福祉の充実	46
施策 1-5 障害者福祉の充実	50
施策 1-6 地域福祉の充実	53
[2] 教育・文化	56
施策 2-1 学校教育の充実	57
施策 2-2 生涯学習・生涯スポーツの活性化	62
施策 2-3 伝統・文化の継承と発展	65

伊方町総合計画

[3] 社会基盤	67
施策 3-1 道路・河川の整備・交通環境の充実	69
施策 3-2 港湾機能の充実	74
施策 3-3 住環境の充実(住宅・公園)	77
施策 3-4 自然エネルギー・高度情報基盤の活用	80
施策 3-5 防災・消防体制の充実	82
施策 3-6 安心・安全なまちづくりの推進	86
[4] 環境保全	88
施策 4-1 資源循環型社会の実現	89
施策 4-2 上・下水道の整備	93
施策 4-3 自然環境・生活環境の向上	96
[5] 産業振興	98
施策 5-1 農業の振興	99
施策 5-2 水産業の振興	104
施策 5-3 観光・ツーリズム・商工業の振興	108
[6] 住民協働・行財政	112
施策 6-1 人権尊重・男女共同参画社会の推進	113
施策 6-2 地域間交流・国際交流の推進	116
施策 6-3 協働のまちづくりの推進	118
[5年間の重点事業]	
1) 健康と安心感を高める重点事業(9事業)	122
2) 人材育成と郷土愛を高める重点事業(9事業)	123
3) 安全と暮らしやすさを高める重点事業(8事業)	124
4) 豊かな自然を継承する重点事業(6事業)	125
5) まちの活力を高める重点事業(11事業)	126
6) 人権意識と互いの信頼を高める重点事業(9事業)	127
再掲) 少子化対策の重点事業(32事業)	128
[1] 伊方町総合計画後期基本計画策定委員会 委員名簿	132
[2] 伊方町総合計画後期基本計画 策定経過	133

資料編

